



TCA

— NEWS —

Vol.97 10月号

発行

富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

CiCビル3F富山市国際交流センター内

TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643

発行責任者 広報・組織強化委員会



Zoomを利用した
Online 講座!!

外国語ボランティア養成講座 後期

対象言語：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語

日時：① 11月28日(土) 13:30~15:15

② 12月26日(土) 13:30~15:15

③ 1月23日(土) 13:30~15:15

場所：とやま市民交流館 学習室1~3(CiCビル3階)

内容：外国人をサポートするために必要な語彙や表現を学びます。

対象：会員 / 受講料：無料

定員：35名(要申込み・申込順)

※ポルトガル語・韓国語は10日前までにお申込み下さい。

募集中です!!

災害時外国人支援語学ボランティア研修会

日時：10月31日(土) 10:30~12:30

第1部 講演「コロナ時代における災害時支援」

講師：八木 浩光 さん

(一財)自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー

(一財)熊本市国際交流振興事業団 事務局長

第2部 情報伝達に必要な語彙や表現の訓練

場所：とやま市民交流館 学習室1~3(CiCビル3階)

対象：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語での会話が可能な方

定員：35名(要申込み・申込順)

締切：10月23日(金)

※ポルトガル語・韓国語は10日前までにお申込み下さい。

総務企画委員会 国際交流TCAカレッジ 姉妹友好都市委員会 特別講座

「セルビアへの一時帰国から日本への再入国まで」

講師：スロボダン バブコブさん

◆日時 11月8日(日) 14:00~15:30

◆場所 とやま市民交流館 学習室1~3(CiCビル3階)

◆対象 会員(参加費無料)

◆定員 35名(要申込み 申込順)

※お話は日本語で行われます。

総会につきましては、3密を回避するために、従来の一般参加は取りやめ会員代表に集まっていただきました。議事では、令和元年度の事業報告、収支決算・監査報告、令和2年度事業計画案・収支予算案、理事の選任案がそれぞれ原案通り議決されました。

第27回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会

今年度富山で開催予定で例年7月に開催している総会につきましては、3密を回避するために、従来の一堂に会する方式は取りやめ書面表決を行いました。その結果、すべて原案通り議決されました。研修会は状況を見て開催することとなりました。

多文化共生事業

外国語ボランティア養成講座前期

第1回 6月27日(土) 参加者27名 新型コロナウイルス感染症Ⅰ

今年度初めての開催。会場の都合により3密を回避するために、後半の語学研修は英語の中級クラスのみ開催となりました。

第1部 お話 「外国人のたちが困っていること」 富山県外国人ワンストップ相談センター 相談コーディネーター 清水 文代 さん

相談内容は多種多様であるが、大きく分けて①問題解決型、②苦情型、③話を聞いてほしい型、④情報提供型がある。どんな相談でも相談者に寄り添い、じっくりと話を聞くよう心掛けています。「外国人の方々も住民としての権利や義務を持っている」ことを忘れずに対応することが大切である。新型コロナウイルスに関する相談は、3月上旬から始まり、ウイルスに関することや、子どもの学校休校に伴うこと、再入国、各種給付金の諸手続きなど、時期によって内容が変わっていった。ベトナムの方が増えているので、そのフォローが課題とのこと。新型コロナウイルスで国際交流もままならないご時世ですが、ボランティア活動本来のやりがいや楽しさなど清水さん自身の体験談も聞いて、少し明るい気持ちになれました。

第2部 関連情報多言語サイトの紹介

最近様々な多言語情報がインターネット上で閲覧できるようになった。その中で特にコンパクトにまとめている法務省提供の「外国人生活支援ポータルサイト(医療)」を紹介した。新型コロナウイルス感染症に関連した生活支援や休業支援金・給付金、特別定額給付金など、外国人の方への説明時に有効なリンクが張られている。

第3部 表現練習

最近よく見聞きするようになった新型コロナウイルスに関する用語・表現について学んだ。



～外国語で言えるかな～

- ①新型コロナウイルス感染症
- ②飛沫感染
- ③陽性/陰性
- ④手指消毒剤
- ⑤新しい生活様式 ※答えは次ページに

第2回 7月25日(土) 参加者35名 新型コロナウイルス感染症Ⅱ

第1部は講演、第2部は、英語、中国語、韓国語の言語に分かれ、スクリプトに沿って会話表現の練習を行いました。

第1部 お話 「留学生を取り巻く状況」 富山大学国際機構交流部門 准教授 吉川 朋子さん 講師 朴 銀鏡さん

今年度富山大学で学位取得を目指す正規留学生は約25カ国から300人程度を予定しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止施策のため、その2割がまだ入国できていない。一部の単位取得をめざす非正規留学生を含めると割合はさらに大きくなる。今年度の前期授業は、2週間遅れで全学オンラインで開始し、6月より部分的に対面授業へと移行した。未入国の留学生に対してはオンライン授業を継続したが、オンライ



ン環境などにより不便を強いられている学生がいることは否めない。また、入国済の留学生も含めて、人との接触の少なさが不安につながっている。そこでオンラインミーティングなどで留

生同士が交流したり、大学に直接質問ができるようにしている。それでも実験や実習、実技などの科目は非対面授業ではできないので、それらに関してはそれぞれの留学生の国の大学ないしは関連機関で実施し、富山大学が実験や実習、実技などの科目を認めるような体制を構築する可能性を検討している。

第2部 表現練習

新型コロナウイルス感染症に関連した表現を練習した。英語は、日本語の説明も入る初級と英語のみの中級に分かれて行った。初級は新型コロナウイルス感染症に関する基本的な表現を繰り返し口頭練習する中で、外国人からの質問に答えたり、こちらから説明したりできるように受講生たちは熱心に取り組んでいた。中級では、外国人生活支援ポータルサイトの英語版の情報を基に、外国人講師からの質問に対して答える練習をしたり、英語表現が英語圏の人々に与える印象について外国人講師に話してもらったりした。なかには日本人が当然と思っているような表現が誤解を招くことを知って驚いている受講者もいた。

<第1回>6月8日(月)
オンラインで歌ってみよう!

新型コロナウイルスの影響で4・5月はお休みだった講座がオンラインで再開した。初めての試みだったが、白川先生が事前に行った個別導入サポートのおかげで、当日の授業は、初めてにしてはスムーズに運んだ。元々、先生がパソコンを教室に持ち込んで、YouTubeでミュージックビデオを観て一緒に歌ったり、歌詞を理解するためにたくさんの画像を見る授業形態だったので、オンライン実施にあまり違和感がなかった。大きな違いといえば、歌った時に他の人の歌声を聞くことができないのと、ブラジルのお茶とお菓子を味わえない点。今回の課題曲は Kell Smith(ケル・スミス)のEra Uma Vez(むかしむかし)

<第2回>7月13日(月)
歌から教わるメタフォラは面白い!

広い会議室に、透明間仕切り、消毒液、マスク使用で、MPB教室はCiCビルに戻ってきた。嬉しい。課題曲は、Zé Ramalho(ゼ・ハマリオ)の Chão de Giz(直訳:チョークの地面)。路上にチョークで描いた絵のことで、日本だとまず子供の落書きを思い浮かべる。しかし、ブラジルのそれは路面に細密に描かれた壮大なだまし絵アートなのだ。歩行者が迷い込むのは、地割れの下に逆さまに広がる地下世界や、目もくらむ摩天楼のてっぺん、はたまた鱷が口を開けて待ち構える激流の川下り。それらがいかに緻密でリアルな傑作でも、ひと雨くるまではかない命。作者自身の恋愛をこの題名で象徴したことが、この歌の一番の成功ではなからうか。

<第3回>8月24日(月)
もとネタを知れば意味がわかる!

例年8月は講座はお休みだが、オンラインという手段を手に入れた今年は開催。コロナ(転ん)でもただでは起きたくない。今回はブラジルのテレビドラマの主題歌を取り上げた。まずドラマ“Saramandaia”の粗筋をポルトガル語で読む。とある町の名称変更にもまつわる賛成派と反対派の対立を描くドラマだとわかった。しかし、主題歌Pavão Misteriozo(不思議な孔雀)とドラマの接点がなかなか見いだせない。実は歌はテレビドラマとは全く別の物語を下敷きに書かれていたのだ。もとネタの物語を読むことによつてようやく私たちは歌詞の意味を知る。では、なぜその歌がテレビドラマに採用されたのか?それが misterioso(不思議)なところだ。
※曲の題名に使われたMisteriozo は本来のポルトガル語のつづりではない。

韓国文化紹介講座 **韓国語で楽しく会話できる「韓国語カフェトーク」!** 自分のレベルに合わせて挑戦しましょう!!

毎月第2金曜日 やり直し講座(初級レベル)

今年から新しいメンバーも加わりました。簡単な問題を解いたり、発表をしたり、ゆつくりと学んでいます。

毎月第2木曜日 中級レベル

色々な年代の韓国好きが集まって楽しく勉強をしています。工夫をこらした問題や興味ある内容のプリントで、聞く、読む、話す、書くといった全ての力の向上を目指しています。また、毎回提出している作文は赤ペンの多さがかえって励みになっています。

毎月第3日曜日 上級レベル

韓国の新聞をメインにし、記事を読んで訳す勉強をしています。難しい単語や文法について悩んだり、普段触れない単語の学習で毎回刺激をもらっています。



まだまだマスクが手放せない日々が続いていますが、いかがお過ごしですか。

9月から国際教養委員会中国語クラスも再開し、現在ほぼすべての講座を実施しています。

国際教養委員会の講座では、オンライン講座もいくつか開催していますので、みなさんもぜひ参加してみてください。

ただ、残念ながら国際交流フェスティバルは、共催3団体で協議を重ねましたが、中止することになりました。来年は2年分の思いを込めて盛大に開催できることを願っています。

日本語クラスは、現在3密を回避できる水曜日、金曜日の午前中(大人クラス)と日曜日(子どもクラス)のクラスを実施しています。日本語学習者の方たちの熱心さに元気をもらっています。TCAニュースは例年8月に発行していますが、掲載記事の都合で10月に変更していますので、ご了承ください。

みなさん、くれぐれもご自愛ください。



日本語クラスの様子

日本語	新型コロナウイルス感染症	飛沫感染	陽性/陰性	手指消毒剤	新しい生活様式
英語	COVID-19 (Coronavirus Disease 2019)	droplet infection	positive/negative	hand sanitizer	new normal
中国語	新型冠状病毒感染症	飞沫传播	阳性/阴性	手指消毒液	新生活方式
韓国語	코로나19 (코로나바이러스)	비말전염	음성/양성	손소독제	새로운 생활 방식
ポルトガル語	Covid - 19 (novo coronavírus)	transmissão por gotículas	positivo/ negativo	desinfetante para as mãos	retomada segura das atividades e do convívio social

委員会報告



文化交流

書道&七夕短冊作り体験

7月12日(日)

新型コロナウイルスの影響で、例年になく少ない参加者での開催となりましたが、少人数ならではの濃い内容で、外国人参加者には先生が手取り足取りで教えてくださいました。また、日本人参加者は、宿題の書初め以来だなどと言いながら初心に帰り、書道の難しさや楽しさを改めて感じていました。コロナウイルスの早い収束や世界平和、家族の幸せ、健康等の願いをそれぞれ短冊に書き、笹竹に括り付けて七夕飾りにしました。



国際教養

Online 多国言語文化交流クラス

◆ 7月4日(土) トルコ共和国 & トルコ語

講師 ジョシュクネル バルシュ さん

アジアとヨーロッパにまたがり、首都はアンカラで、国土は日本の約2倍の広さである。地域によって気候は異なるが、南部は夏は高温で空気が乾燥している。黒海沿岸は穏やかな気候で雨も多い。内陸部は大陸性気候で寒暖の差が激しく、山岳地域では雪も降りウィンタースポーツが楽しめる。

世界3大料理の一つと言われるトルコ料理は、中央アジアに広がるトルコ民族の伝統料理の要素に加え、周辺諸国の料理にも影響されている。トマトや玉ねぎ、オリーブオイルを使った料理が多く、味のベースにはカルチャと呼ばれるトマトペーストがよく使われる。日本でも知られているドネル・ケバブは、「Dönmek (回転する)」の名の通り、鉄柱に下味を付けた肉を何層にも重ね回転させながら焼く料理で、パンに挟んで出される。トルココーヒーは有名だが、イスタンブールで16世紀半ば世界初のコーヒー店が開かれ、政談や商談の場となっていたといわれている。またコーヒーを飲んだ後カップに残った模様で運勢を占う「コーヒー占い」がある。バルシュさんは、富山大学への短期留学プログラムで来日。アンカラ大学では、言語地理歴史学専攻で、日本語学習歴3年でありながら、漢字検定準1級も取得されていて、流ちょうな日本語でトルコについて説明してくれました。



◆ 9月5日(土) ラトビア共和国 & ラトビア語

講師 オレグス ピシュチコフス さん

ラトビアはバルト三国の真ん中にあり、国土は6.5万km²で日本の1/6、人口は193万人。かつてハンザ同盟の中心として繁栄した。民族構成は、ラトビア人が60%、ロシア人が26%であり、主な宗教はキリスト教である。伝統的な料理はグレーピー(灰色豆)を肉で炒めた料理で、特にグレーピーは、現在主食のパンやポテト以前の主食であった。魚もよく食べる。民族衣装で特徴的なのが、肩掛けとサクタ(民族衣装用のブローチ)。ラトビア人は太陽神を中心とした神道に似ている宗教観を持っていて、肩掛けには神様と自然現象を表す模様がある。年間行事としてはクリスマスやイースターが、大きな行事である。同時に、長期間他国による支配を受けた国なので、11月18日の独立記念日は盛大に祝う。最大級の花火に、1万人以上のたいまつ行列、コンサートなど様々なイベントが開催される。北欧の国々と同様に短い夏を過ごすのに夏至祭も大きな行事の一つで、各地で祝われる。伝統的な歌や踊り、焚火を飛び越える儀式、花冠を作ったりと、ラトビア人が一番好きなお祭りである。

ラトビアの国の形が富山県の形に似ていることもあり、遠いと思っていたラトビアが、話を聞いていくうちに身近に感じられるようになりました。

ラトビア語のあいさつ Labdien (こんにちは) Labvakar (こんばんは) Uz redzēšanos (さようなら)



Online 英語プレゼンテーション



◆ 7月14日(火)

Speaker: Ms. Charina Melad (フィリピン出身)
Ms. Keycy Mae Pajuelas (フィリピン出身)
Topic: "Philippines- Pearl of the Orient Seas"
"The Importance of English Language"

通訳・ガイド実践講座(一部Online)

◆ 8月29日(土)

9月に予定しているディスカバー富山での岩瀬地区訪問の準備のため、通常のCNNニュースの活動を割愛して、岩瀬在住のケーレンさんにオンラインで参加してもらい、岩瀬の魅力や最近の様子、コロナ禍のツーリズムについて話してもらった。もう一人のゲストのベトナム人のグエン・ティー・レ・ウインさんには自己紹介をもらい、それを受講生が1文ずつ逐次通訳する練習をした。また、自発的に手を挙げた2人の方には同時通訳にも挑戦してもらった。さらに新しいガイドマニュアルに入れる岩瀬地区紹介文を口語的な表現に変えて練習もした。今までにない練習方法に各受講生のみなさんは興味津々で熱心に取り組んでいた。



医療機関での外国人支援と「医療通訳」 協会会員 夏山 ほのか

令和元年末時点で在留外国人数は293万人を超え、前年末に比べ約20万人増加となり過去最高を更新しました。富山県内の在住外国人数も、6年連続で増加しています。在住の外国籍の方や、海外から訪れる外国の方の増加に伴い、医療機関で外国人患者を受け入れる体制を整備する必要性が高まっています。

私は県内の医療機関内で通訳を行う「医療通訳」として、また国内外の外国人患者さんが日本の医療機関で診療をスムーズに受けられるよう支援する「外国人患者受入れ医療コーディネーター」として従事し、外国人診療のサポートを行っています。

日本の病院のしくみや受診方法がわからない、日本の医療制度や健康保険制度がわからない、母国と日本の医療文化の違いに戸惑うなど、外国人患者さんが医療機関で抱える問題は様々です。その中で、最も対策が必要な課題は「言語の違い」による患者さんと医療スタッフ間のミスコミュニケーションを防ぐことです。言葉の壁を越えなければ、患者さんは医師や看護師に「どんな不調で困っているのか」正確に伝えることができませんし、病院の受診方法について情報を得ることもできません。

こうした言葉の壁を解消し、患者さんが安心して医療を受けられるサポートを行うのが、「医療通訳者」の存在です。近年までは、主に非営利団体の通訳ボランティアがこの役割を担っていましたが、外国人患者の増加に伴って専門職としての需要が高まり、資格制度や養成研修などが整備されてきています。医療通訳の現場では、医療に関する専門知識や病院のしくみ、各種医療制度についても理解が必要で、サポートする内容も多岐にわたります。

富山県では、医療通訳について学習する機会が得られる場はまだ少ないですが、他の自治体では国際交流団体が積極的に研修を開催したり、医療機関と連携したりしている地域も多くあります。医療知識を含めた語学学習ももちろん必要ですが、医療通訳を務めるには、対応する外国の方の母国の医療事情や文化背景・生活習慣も理解する必要があります。私は後者の学習の場として富山市民国際交流協会の活動に参加させて頂いています。実際に地域に住む外国人の皆さんと交流を深めることができる、非常に貴重な場だと感じています。

今後、県内でも「医療通訳」や「医療機関での外国人支援」に関心を持つ方が増え、支援の輪が広がることを期待しています。また、私自身も外国人医療支援を行う上で、引き続き交流協会の講座やイベントに参加し、支援のスキルを学ばせて頂きたいと考えています。

英国便り 「新型コロナウイルス」

富山在住で5月に英国に帰国されたポールさんに英国での様子を9月に寄稿していただきました。

Mr. Paul Turnbull

I have good memories of living in Toyama. I hope the people there can stay safe during the outbreak.

In the area where I live now the virus was almost brought under control at the beginning of August. However now the “R-Number” has risen above one and so there are more than one hundred new cases every day. This is because we re-opened places like bars, and because some people didn’t follow the rules. In my area the number of deaths is still very low though. In the whole country there are thousands of people catching the virus and many people dying from it. So, some cities now have “local lockdowns” because they are high-infection areas.

Many people are still working from home or are being paid by the government not to go to work. Children had been staying at home too, but they went back to school in August.

Most people are not wearing masks when they are outside, but it is now a law that people must cover their faces when they are in a shop, in a restaurant or on public transport. Also, more than six adults cannot form a group at any time. If you don’t follow this law, the police can give you a fine. This is a big change for people, because people in my country don’t usually wear masks when they are sick. However, we are allowed to travel. We can even fly to some European countries, but I don’t think this is a good idea.

ポール タンブルさん

富山には楽しい思い出があります。新型コロナウイルス感染症が拡大していますが、みなさん安全に過ごしておられることを願っています。

私が、現在住んでいる地域は、新型コロナウイルスは、8月の初めまで抑え込まれていました。しかし、現在の実効再生産数^{*}が1以上になり、毎日新規感染者が100人以上にも上ります。これは、バーなど、さまざまな場所が再開したこと、また、一部の人が規則に従わなかったためです。私の住んでいる地域では死者数まだ多くありません。国全体では何千人もの人々がウイルスに日々感染しつつあり、多くの方が亡くなっています。感染リスクの高い地域では、今、地域別にロックダウンが行われています。多くの人々が家で仕事をしていますが、仕事がなく政府からの給付金をもらっている人もいます。子どもたちはずっと家にいましたが、8月から学校が始まりました。多くの人々が外出する際にマスクを着けていません。しかし、現在、店、レストランや公共交通機関において、顔を覆わなければならないという法律ができました。また、どんなときでも7人以上のグループで行動してはいけません。もしその法律に違反すれば、警察に罰金を科せられます。これは人々にとって大きな変化です。というのも、病気のときでも、通常マスクをしないからです。旅行は許可されています。いくつかのヨーロッパの国々には飛行機で行くこともできます。しかし、これはいいことだとは思わないですね。(要約文)

^{*}疫学において、感染症に感染した1人の感染者が、平均して何人に直接感染させるかという人数。



お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（10月～12月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
10月11日(日) 10:00～15:45	岩瀬散策研修 	20	富岩運河水上ライン・岩瀬地区	文化交流ボランティア	500円	会員
10月13日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Speaker : Ms. Kerrie Gray (オーストラリア出身) Topic : " My life and travels in Japan "	---	オンライン	国際教養	無料	会員
10月21日(水) 14:00～15:30	特別研修 「豊かさ」って何だろう～ SDGsから学ぶ「持続可能な社会の創り手」への一歩～ 講師：松山 優子さん JICA北陸 国際協力推進員	24	当センター	総務企画	無料	会員
10月31日(土) 10:30～12:30	災害時外国人支援語学 ボランティア研修会 	20	当センター	合同	無料	会員・一般・外国人
11月 8日(日) 14:00～15:30	国際交流 T C A カレッジ 「セルビアへの一時帰国から日本への再入国まで」 講師：スロボダン パブコブさん	35	とやま市民交流館	総務企画 姉妹友好都市	無料	会員
11月28日(土) 13:30～15:15	外国語ボランティア養成講座後期① 洪水ハザードマップの見方、使い方について	35	当センター	---	無料	会員
12月13日(日) 13:30～15:00	食品サンプル体験 	20	当センター	文化交流	未定	会員・外国人
12月26日(土) 13:30～15:15	外国語ボランティア 養成講座後期②	35	当センター	---	無料	会員

※休館日（10月～3月）・・・

10月20日（火）、11月17日（火）、年末年始（12/29～1/3）、
1月19日（火）、2月16日（火）・17日(水)、3月16日（火）
※行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/>
でご確認いただくか、協会までお問合せください。

法務省 「外国人生活支援ポータルサイト」

日本に在留する外国人の方々やその支援者の方々に対して有用な情報が掲載されています。アクセスしてみてください。

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00047.html

掲載内容

- 台風への注意喚起
- 新型コロナウイルス感染症関連情報
- 在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン
- 生活・就労ガイドブック 他

編集後記

新型コロナ禍に続き記録的な猛暑で皆さんご苦勞なされたことと思います。当協会でも各イベントや活動も中止、または規模縮小を余儀なくされています。コロナ対策は長期戦となり、これからはウイズコロナでの活動に変えるべく方法を模索中です。例えばリモートで行えるものは、Zoom等を利用したオンラインに変更しました。まだまだ不十分な点はありますが、これを将来予想されるデジタル時代へ対応する良い機会と捉え、前向きに進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願い致します。（川除）

***** ボランティア委員会 *****

マスク（新品・未開封）寄付お礼

会員の皆さんのみならず、掲示を見た館内の方々からもいただきました。多くの方の善意のおかげで一定数集まりましたので、7月31日を以ていったん募集を終了しました。

今後も日本語クラスや勉強お助け隊（外国籍児童・生徒クラス）で活用させていただきます。ありがとうございました。



ソーシャルディスタンスの確保を意識しようね！



周囲に人が多いところではマスクをつけようね！



こまめに手を洗おうね！